

全国環境連

1月号



2025年 新年のご挨拶



令和7年(2025年)年頭所感 新たな年を迎えて

全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会

会長 河野 正 美

明けましておめでとうございます。

会員・関係者の皆様には、輝かしい未来への希望を胸に、新たな令和7年の新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

全国環境連は今年で創立22年目を迎えます。創立以来、ご理解とご協力を頂いている全国の会員の皆様、そして日頃らご指導を頂いている関係機関、団体の皆様に改めて感謝を申し上げます。

さて、甚大な被害が発生した昨年1月の能登半島地震から1年が経過しました。お亡くなりになられた方々に対し、心より御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

石川県では昨年6月「石川県創造的復興プラン」を取りまとめました。副題は「能登が示す、ふるさとの未来」です。奇しくも一昨年、熊本県で開催した環境連全国大会のテーマが「創造的復興～水の新時代～」でありました。考え方を同じくして、石川県では「創造的復興」を「地域の人口減少と高齢化が進む中、インフラを被災前の状態に戻すのではなく、維持管理コスト等、元々あった課題を踏まえ、未来志向に立って、以前よりも良い状態へともっていくこと」としています。そして「震災を経験した能登が、半島という地理的特性もある中で、人口減少社会に適応しながら持続可能な地域のあり方を実現することは、人口減少に悩む多くの地方にとって、

希望の光となります。能登の創造的復興は、日本全体の未来を変えていきます。」と力強く宣言しています。石川県のこの取り組みには強く感銘し、心からエールを送りたいと思います。そして、自立分散型インフラの代表格である浄化槽は「創造的復興」に向けた大きなツールになっていくものと確信しています。



昨年、全国環境連は「マインドイノベーション！進化する循環型社会に向けた意識と行動」を大会テーマに20周年全国大会を開催しました。意識の改革と行動の変革を通じて未来を切り拓くこと、持続可能な社会実現のため、技術革新の推進、社会的責任の強化、環境教育と啓発、持続可能な経営、防災と減災に取り組むことを宣言しました。また、記念事業としてインドネシア共和国における「浄化槽に係るアジアにおけるワークショップ及びセミナー等開催業務」及び「脱炭素社会実現に向けた都市間連携事業」を受託し、浄化槽のシステムが同国において実現可能かどうかの調査を行っています。両事業とも日本国が誇る浄化槽のシステムをアジア各国に広めていくための事業で、会員企業の海外展開に向けても情報の活用が可能です。

持続可能な生活排水処理の最も優れた手法として浄化槽をさらに普及させるべく、本年も全国環境連は必要な取り組みを行ってまいります。また、脱炭素・循環型社会の構築に向けて、浄化槽分野における脱炭素への取り組みや、汚泥の資源化等への参画を念頭に先行事例の情報収集等、研究を進めてまいります。

最後になりましたが、本年も皆様方の益々のご活躍、ご健勝を祈念すると共に、当連合会に対し、更なるご指導、ご支援を賜りますようお願いを申し上げます。



150L・200L ブロワがリニューアル

リニア駆動フリーピストン方式採用で
消費電力削減・高耐久を実現



NEW
メドーブロー®
LA-150F/LA-200F

低消費電力
最大約19%消費電力を低減(当社比)
電気代節約、CO₂削減に貢献

長寿命
可動部品はピストンのみ
リニア駆動フリーピストン方式を採用

安心
サーマルプロテクタ搭載
異常加熱すると自動停止
(温度が下がると自動復帰)

メンテナンスが容易
フィルタ、ピストン交換は
ネジを緩めるだけの簡単作業

低作動音
屋外、夜間運転を考慮した静音設計

製品外観



リニア駆動フリーピストン方式

メドーブロー®



ブロワ検索

修理研修受付中／デモ機依頼お気軽に！

技術で、人を想う。

日東工器株式会社

メドー事業部 リニア販売部

〒146-8555 東京都大田区仲池上 2-9-4 Tel:03-5748-5521 Fax:03-3754-0258

www.nitto-kohki.co.jp

新年祝詞

新年の祝詞



環境整備議員連盟会長

衆議院議員 逢沢一郎

新年明けましておめでとうございます。

全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会の皆様にはお元気に令和7年の新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。今年も新時代に相応しい循環型社会形成に向け、前進の一年になりますよう、皆で力を合わせて頑張りましょう。どうぞよろしくお願い致します。

昨年(第20回)全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会全国大会は素晴らしい大会でした。「マインドイノベーション! 進化する循環型社会に向けた意識と行動」をテーマに、首都東京での大会は地域環境問題の克服に繋がる、またSDGsの進展に資する立派な大会となりました。大会を通じて静脈側産業の大切さ、循環型社会づくりが、この地球に生きる私たちにとって如何に重要なことか、とりわけ水処理の重要性を国民の皆様へアピールする大会が大成功であったこと嬉しく思いました。

廃棄物処理業は、政府の基本的対処方針において「国民生活・国民経済の安定確保に不可欠の業務を行う事業者」と明記されています。そこで働く方々は、まさにエッセンシャルワーカーの方々です。コロナの拡大で厳しい状況の時も、業務に邁進して頂き、地域の衛生、安全安心を確保して下さいましたこと、私たちはしっかりと記憶に刻み込んでいます。改めて心より感謝申し上げます。業界全体が、今まで以上に業務の重要性を認識いただき、自信と

誇りをもって仕事に取り組んでいただけるよう、とりわけ水処理専門業者の皆様への地位向上に国政で全力を尽すことをお約束申し上げます。

資材の高騰など物価高が続きます。事業の経営安定のためには調達する資材等の価格転嫁が不可欠です。従業員の方々の賃金アップも必要です。国や自治体の発注はもちろんですが、価格転嫁を織り込んだ発注、受注体制を構築してまいります。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

地球温暖化の影響もあり近年災害が多発、巨大化してまいりました。台風の大型化、今まで経験したことのない集中豪雨。また日本列島は地震のリスクから解放されることはありません。常に災害に向き合わなければならない、という厳しい環境にあって、皆様には水処理専門業者としてDX、GXをはじめ新しいリサイクル技術の導入、効率化、生産性向上に積極的に努力いただいております。心より感謝申し上げます。

SDGsの目標達成を考えると、適正な廃棄物処理、水処理は各国共通の課題です。この地球が持続可能であるように、人々が安全で衛生的な環境の中で生活を営むことができるように。日本は持てる技術や知見を広く世界に展開してまいります。

昨年8月、私はコンゴ共和国、カメルーンを訪問しました。アフリカ大陸の人口は現在14億人。2100年には40億人になると予測されています。人口急増の発展途上国は共通して廃棄物処理への対応が不十分です。JICAなどの支援も取りつけながら、浄化槽の展開など日本の優れた知見や技術を途上国に提供してまいります。同時に環境関連の人材育成にも尽力致します。ご支援ご協力をお願い致します。

私たち自由民主党は党再生に全力を尽くします。少数与党ではありますが、外交内政共に責任ある政治で頑張ります。今年一年ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

年頭所感

環境省 環境再生・資源循環局

年頭所感

環境省 環境再生・資源循環局

次長 角倉一郎



令和7年の新春を迎えるに当たり、謹んで新年の御挨拶申し上げます。

はじめに、令和6年能登半島地震および豪雨災害により亡くなられた方々に対し、心よりお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様へ、改めてお見舞い申し上げます。環境省では、災害廃棄物の処理などを進めるにあたって様々な支援を行ってまいりました

が、御協力をいただいた皆様へ、この場を借りて心より感謝申し上げます。引き続き、関係機関からの応援の力をお借りしながら、早急に復旧・復興が進むよう、全力で支援してまいります。

次に循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行についてです。循環経済への移行は、資源消費の最小化や廃棄物の発生抑制等により、気候変動、生物多様性損失、環境汚染等の課題を解決する重要な取組であるとともに、産業競争力の強化、経済安全保障、地方創生、そしてウェルビーイングの向上に資するものです。近年諸外国において、重要資源の確保や再生材活用による製品の競争力強化といった観点から、産業政策として循環経済に向けた政策を強化する動きが活発になっています。我が国においても、昨年8月に「第五次循環型社会形成推進基本計画」を閣議決定し、循環経済への移行を国家戦略として位置づけました。また、「循

環経済に関する関係閣僚会議」を新たに設置したところであり、政府として統合的に政策を進めてまいります。

循環経済による産業競争力強化、経済安全保障の確保のため、製造業等と廃棄物処理・リサイクル業等の事業者の連携による再生材の質と量の確保を進めます。昨年5月に公布された「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律」の完全施行に向けた取組や、自動車向け再生プラスチックの市場構築に向けた産官学連携を促進するとともに、小規模分散化している循環産業の主体をネットワークで繋ぎ、リサイクル拠点を戦略的に構築することで効率的なリサイクル体制を整備します。また、今後排出量の増加が想定される使用済太陽光パネルのリサイクル促進のための制度的検討や、金属スクラップ等の不適正ヤード問題について制度的検討を進めてまいります。国際的な場においても、企業における循環経済に関する情報開示スキームの構築など循環経済のルール形成をリードしていきます。さらに、廃棄物処理事業の確実な実施、構造的な賃上げの実現のためには、昨今の物価の状況等も踏まえた適切な委託料・処理料金が事業者へ支払われることが重要です。昨年9月には、各都道府県知事宛に局長名で通知を行ったところであり、引き続き同通知の周知に努めてまいります。

浄化槽については議員立法による浄化槽法改正の動きもあり、令和元年以来の大きな変化の時期を迎えつつあります。こうした状況も念頭に置きながら、昨年取りまとめた有識者検討会報告書を踏まえ、特定既存単独処理浄化槽の適用実績の拡大や、浄化槽台帳の整備・情報収集のデジタル化に向けた取組を進めます。

今後とも、環境再生・資源循環行政の一層の推進のため、御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹賀新年

旧年中は格別のご高配にあずかり、ありがたく厚く御礼申し上げます。本年のご多幸をお祈り申し上げます。

令和7年 元旦

全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会 会長 河野正美

鹿児島県環境整備事業協同組合
福岡県環境整備事業協同組合連合会
岡山県環境整備事業協同組合

宮崎県環境整備事業協同組合
山口県環境整備事業協同組合
長野県環境整備事業協同組合

熊本県環境整備事業協同組合
島根県環境整備事業協同組合
栃木県環境整備事業協同組合

大分県環境整備事業協同組合
鳥取県環境整備事業協同組合
福山市環境事業協同組合

令和7年 年頭所感

環境省 環境再生・資源循環局

廃棄物適正処理推進課長 松崎 裕司



令和7年の新春を迎えるに当たり、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会の皆様方におかれましては、日々、一般廃棄物の適正処理や浄化槽の清掃等、生活環境の保全及び公衆衛生の向上のために御尽力されていることに対し、深く敬意を表するとともに、

廃棄物適正処理・資源循環行政の推進に格段の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年も、1月1日に発生した令和6年能登半島地震をはじめ、地震や台風、大雨等により、全国各地で災害に起因する被害が多く発生しました。お亡くなりになられた方々に対し、心より御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に改めてお見舞い申し上げます。

頻発する災害に対し、適正かつ円滑・迅速な災害廃棄物処理の実施や、平時からの体制整備が一層の急務となっています。環境省では、貴連合会にも御参画いただいている災害廃棄物処理支援ネットワーク（D.Waste-Net）や、災害廃棄物処理経験を有する自治体職員を登録する「災害廃棄物処理支援員制度（人材バンク）」などによる被災自治体支援体制の充実を図っています。災害時には、その規模・状況等に応じて、発災直後から被災地に職員や技術専門家等を派遣し、全国の自治体や一般廃棄物関係団体、民間事業者等の御協力もいただきながら、被災自治体への災害廃棄物処理支援を行っています。

今後、自治体による災害廃棄物処理計画の策定及び改定の支援や、国、地方自治体、関係機関等との連携協力の促進など、災害に強い廃棄物処理体制の構築に向けた取組を更に進めてまいります。

一般廃棄物の適正処理は、生活環境の保全及び公衆衛生の向上の観点から厳然として不可欠であり、今後も更に推進する必要があります。

廃棄物処理事業を確実に実施し、構造的な賃上げを実現するためには、昨今の物価の状況なども踏まえた適切な委託料・処理料金金が事業者を支払われることが重要です。令和6年9月30日付けで、一般廃棄物処理業務における労務費、原材料費、エネルギーコスト等の適切な転嫁のための重要事項についてとりまとめ、必要な措置の実施に努めることを各都道府県知事宛に通知したところです。同通知の趣旨等に加え、一般廃棄物処理に関する市町村の統括的責任の重要性、市町村の一般廃棄物処理計画を踏まえた廃棄物処理法の適正な運用について、引き続き周知を図ってまいります。

一般廃棄物処理施設は、平常時及び災害時を通して一般廃棄物の処理を適正かつ着実にを行い、地域の資源循環を支えるとともに、地域創生の基盤となる重要な社会インフラです。廃棄物処理法に基づく基本方針や廃棄物処理施設整備計画等を踏まえつつ、防災・減災や国土強靱化、廃棄物エネルギーの利用等の観点からも、循環型社会形成推進交付金等で支援することにより、早急かつ適切な更新を進めてまいります。

循環型社会形成推進交付金等による支援では、浄化槽の整備も重要です。環境省では昨年、有識者検討会を立ち上げ、単独浄化槽から合併浄化槽への転換の促進や浄化槽台帳の整備・充実に向けた議論を進めてまいりました。検討会の取りまとめを踏まえ新たな対策を講じ、一層の整備推進と維持管理の徹底を図ってまいります。

また、令和6年8月には、循環型社会形成に向けた政府全体の施策を取りまとめた国家戦略として、第五次循環型社会形成推進基本計画を策定しました。本計画に基づき、多種多様な地域の循環システムの構築と地方創生の実現に向けて、廃棄物処理施設の整備や広域化・集約化、特性に応じた効果的なエネルギー回収技術の導入等を推進してまいります。

本年も、昨年に引き続き、災害廃棄物を含めた一般廃棄物の適正かつ円滑な処理を推進するとともに、循環型社会と脱炭素社会との統合的実現に向け、全力を尽くしていく所存です。

皆様におかれましても、廃棄物・資源循環行政に変わらぬ御支援、御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

最後に、この一年が皆様方にとって大いなる飛躍の年となりますよう、心から祈念いたしまして、私の年頭の挨拶とさせていただきます。

「年頭所感」

環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課

浄化槽推進室長 沼田 正樹



明けましておめでとうございます。

平素より浄化槽行政の推進に御理解、御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。また、浄化槽の整備や維持管理を通じて、生活環境の保全や公衆衛生の向上に多大な貢献をいただいている皆様に対して、改めて感謝申し上げます。

我が国が本格的な人口減少期を迎えている中で、分散型処理施設である浄化槽の果たす役割はますます大きくなっている一方、未だに約349万基が残存している単独処理浄化槽への対応や、適正な維持管理（保守点検・清掃・法定検査）の確保など、浄化槽行政には依然として多くの課題が残されています。環境省では昨年、有識者検討会を立ち上げ、貴連合会にもヒアリングにご参画いただきながら、特定既存単独処理浄化槽の適用実績の拡大や、浄化槽台帳の整備・情報収集のデジタル化といった論点について議論を重ねてまいりました。昨年11月に取りまとめた報告書を踏まえ、特定既存単独処理浄化槽の判断基準の明確化、デジタル事例集や指導・助言マニュアルの作成、予算面のメニュー強化など、具体的な対策を進めてまいります。

また、昨年は元日に発生した能登半島地震を契機に、災害時のし尿処理に大きな関心が向けられた年でもありました。私自身も発災直後から、仮設トイレの増設に対応するためのバキュームカーの派遣調整、被災浄化槽の復旧に向けた体制整備等に従事してまいりましたが、日頃は当たり前と思いがちな尿処理というインフラが如何に貴重なものであり、多くの方々のご尽力によって成り立っているものであるかを見つめ直す機会ともなりました。

今回の震災を通じて、災害発生後の速やかなし尿処理や浄化槽復旧に向けた、平時からの体制整備の重要性が改めて浮かび上がりました。また、各地域の浄化槽設置状況が正確に把握できていない場合は初動対応にも影響が生じますので、こうした点からも浄化槽台帳の重要性が再認識されたと考えています。震災で明らかになったこれらの課題についても、順次取組を進めてまいります。

この他に、今年の通常国会において議員立法による浄化槽法改正を目指す動きもあり、浄化槽行政は令和元年以来の大きな変化の時期を迎えつつあると感じています。こうした状況にあって、それぞれの地域における行政・事業者・関係機関の連携がより一層重要となります。関係者の皆様には、協議会の設置をはじめとする連携強化に向けた取組を引き続きお願いいたします。

様々な課題はありつつも、浄化槽というシステムが持つ価値に揺らぎはなく、環境省としては汚水処理施設の概成、さらにはその後も見据え、持続可能な浄化槽システムの構築に向けて、関係者の皆様と手を携えて、浄化槽行政を進めてまいりたいと考えております。本年も御理解と御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

各県の会長・理事長

新年のごあいさつ



鹿児島県環境整備事業協同組合
理事長 宮地 光弘

新年おめでとうございます。

全国環境連の会員、関係者の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃よりご指導、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は「マインドイノベーション！進化する循環型社会に向けた意識と行動」をテーマに第20回全国大会が盛大に開催され、今後私たちが持続可能な社会を実現するために取り組むべきことを新たに認識したところであります。

一方、ウクライナや中東だけでなく世界各地において政局を含めて様々な動きがあり、我が国への影響が懸念されるところです。

わが業界を取り巻く環境は、燃料や資材価格の高騰、少子高齢化等に加え、浄化槽法改正の動きがあるなど、大変厳しい状況にありますが、このような中にあっても、社会から信頼・評価される事業活動を推進していく必要があります。

本組合では、青年部も含め、各種会議や研修会等の開催などに積極的に取り組んでおります。その一環として、昨年の事業主研修会においては、国安彦顧問から、今後の污水处理施設の望ましい整備の方向性や、ICTの導入・デジタル化の実装をはじめとする社会情勢の変化に対応する新たな体制整備について様々な提案を受けました。

こうしたことを踏まえ、経営基盤の構築や一層の適正な業務推進を図っていくために具体的にどのように行動していくか、組合を挙げて検討していく必要があります。

また、環境省においては、浄化槽の維持管理の向上やデジタル化による関係者間の連携の向上など様々な検討が進められており、浄化槽法改正の動きもあります。協議が適切な方向に進むよう全国環境連の一員として必要な意見をしっかりと発信していきたいと考えております。

私ども業界は、地域社会の中で健全な水環境の維持を図ることを通じて、生活環境の保全や公衆衛生の向上に取り組んでまいりました。今後一層の貢献ができるよう組合員と活発に議論や対話を重ねながら事業活動を展開するとともに、次世代のリーダーの育成や組合事業への参画も図りながら、積極的に活動してまいります。

終わりに、河野会長を中心とした全国環境連の更なる発展と会員の皆様の益々のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。



宮崎県環境整備事業協同組合
理事長 岩本 晋時

明けましておめでとうございます。

皆様には新年を迎え、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年は、全国環境連第20回全国大会が東京都で開催されました。今回の全国大会では「マインドイノベーション！進化する循環型社会に向けた意識と行動」をテーマに、技術革新の推進、社会的責任の強化、環境教育と啓発、持続可能な経営、防災と減災の対策の5つの取り組みを通じて、循環型社会の構築を目指し、安心して安全な生活環境を次世代に継承し、新しい時代にふさわしい意識と行動をもって地域と共に未来を切り拓くことを宣言しました。21世紀は環境の世紀と言われる中、経済情勢や国等の動向を踏まえながら、将来を見据えた意識改革に努めると共に、適正業務の遂行、経営基盤の安定、次世代を担う人材の育成など一丸となって取り組んでいくことが必要です。

近年、毎年のように自然災害が発生し、災害廃棄物に対する事前の重要性が改めて認識されています。災害廃棄物に対する平時の備えを充実するとともに自治体による災害廃棄物処理計画の策定支援、県市町村との災害協定や連携協力の促進など、災害に強い廃棄物処理体制の構築に向けた取り組みを進めていくことが求められています。

さて、全国の污水处理人口普及率は令和4年度末現在93.3%に達していますが、人口5万人未満の自治体においては84.0%と低い状況にあります。都市郊外や地方部において効率的な整備が可能な浄化槽の特徴を十分に活かし、污水处理施設の未普及解消を進める必要性があり、特に単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換の加速化に取り組むことが重要となります。さらに浄化槽による適切な污水处理サービスを持続的に提供するためには、浄化槽設置後の適切な維持管理が必要であり、そのためには関係者が連携してデジタル化された維持管理データを収集・整備し、活用していくことが効果的と考えられます。人口減少及び少子高齢化が進むことで、関係技術者の確保が困難になることを見据え、生産性の向上を目指してデジタルフォーメーション(DX)を推進することが浄化槽分野にも求められます。

最後になりますが、本年も皆様方のご指導、ご鞭撻の程をお願いすると共に、全国環境連の皆様のますますのご繁栄とご多幸を心からお祈りいたしまして新年の挨拶といたします。

MORITA × KAO

共同開発

臭気・衛生対策製品

花王が開発した液をモリタエコノス独自技術で効率的に噴霧！

ポンプオイルに添加するだけ！



菌・ウイルス除去に

ミラクルキヨラTM

菌・ウイルスを99%除去※
エタノール不使用で引火の心配なし！

※すべての菌・ウイルスを除去するわけではありません。

生ゴミ臭対策に

ミラクルキヨラTM

専用香料で不快な悪臭を爽やかな香りに！

不快臭対策に

ミラクルチェンジャーTM

不快な悪臭を心地よい香りに変化！



環境保全車両の開発・製造・販売

株式会社モリタエコノス

Webサイトはこちら



このQRコードはアクセス解析のためにCookieを使用しています。
アクセス解析は匿名で収集されており個人を特定するものではありません。
この機能はCookieを無効にすることで、Cookieを用いた収集を拒否することができます。
お使いのデバイスのブラウザの設定をご確認ください。
QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



熊本県環境整備事業協同組合
理事長 犬童 英 昭

新年明けましておめでとうございます。
全国環境連会員の皆様方には、日頃から格段の御厚情を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

また、昨年は当組合も創立50周年の節目を迎え、11月15日(金)に熊本市内において講演会、式典及び祝賀会という次第で記念行事を開催いたしました。熊本市知事、国会議員や県議会議員、県の担当部局職員、市町村長及び担当課職員、関係する団体や事業者等の御来賓の他、組合員を含めて約200名の皆様に来場いただき、おかげをもちまして盛会の裡に終えることができました。中でも、遠路を多数来県いただき、お祝いと激励を賜った河野会長はじめ全国環境連の理事の皆様方には、あらためて深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、残念なことですが、元旦の能登半島地震で始まりました。近年、我が国では、東日本大震災や熊本地震の他、地球温暖化に起因する大型台風や豪雨水害といった大規模災害が続いており、能登半島では9月の豪雨災害がダブルパンチとなっており、犠牲となられた方や被害を受けられた方を思えば、誠に心痛に堪えません。一日も早い復興を願いつつ、当組合では、速やかな災害支援や防災について学ぶため、創立50周年記念事業において、拓殖大学の濱口和久様を講師に招き、『日本に必要な防災・減災の視点～能登半島地震の教訓を踏まえて～』と題して記念講演を行いました。輸送網が寸断され、断水及び停電、加えて極寒の中という極めて厳しい条件下でのトイレ問題の実情に触れ、我が国の避難所の環境を早急に改善していく必要性と、私たちの業界による災害支援の重要性を痛感した次第です。

さらには、一昨年以来の世界情勢の影響も加わり、燃料費や原材料費が軒並み値上がりしております。私たちの業務に必要な薬品類やブローなども次々と値上がりし、人手不足や人件費の高騰も相俟って、業界を取り巻く環境は厳しさを増すばかりですが、私たちの業界は、平時においても非常時においても、浄化槽の清掃や保守点検などの維持管理や一般廃棄物の収集運搬などの業務を適正かつ確実に行い、地域の安心安全な生活環境を維持向上させていくため、安定的な会社運営を目指す必要があります。

そのため、対応策の一つとして、人口減少や高齢化、財政逼迫に悩む自治体の厳しい事情に配慮しながら、昨年も、組合員と連携して県下市町村を訪問し、業界の窮状を説明のうえ、手数料等の値上げ要望等に務めております。今後も、浄化槽を含めた汚水管理に係る国や自治体の動きを注視しつつ、組合員及びその従業員の生活を守り、業界を取り巻く環境を改善向上させていくため、より一層努めてまいります所存です。

最後になりますが、熊本の美しい水環境を将来へ継承していくため、当組合としても、今後も真摯に業務と向き合いながら、新しい時代のツールを取り入れつつ経営と技術の革新を進め、次世代の育成や意識改革などに積極的に取り組んで参ります。

本年も全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会並びに各県組合が、より一層発展致しますよう祈念申し上げますとともに、熊本県がその一翼を担えるよう、努力して参りますので、関係各位におかれましては、昨年同様、一層のご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



大分県環境整備事業協同組合
理事長 穴南 幸 司

令和7年の新春を迎えるにあたり、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。また、平素より全国環境連会員の皆様方におかれましてはご指導、ご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」と申しますが、皆様方がそれぞれの目標を掲げ、新たな気持ちでスタートされたこととご推察致します。「コロナ」という名のキーワードが日常生活の中で希薄になる中、各地で継続し発生する「災害」が自らに起こりうるリスクとして個々の意識の中で増幅し、またメディアを通じて「災害対策」が拡張されています。他方、「スポーツ」における日本人選手の海外での活躍は、MLBを主として、昨年開催をされました国際的な一大協調イベントであるパリオリンピックにおいて、その実力を証明し、スポーツ自体が及ぼす大きな影響とその有効性を改めて実証し、多くの人々に感動を与えてくれました。

全国環境連におきましては、設立20周年を迎える全国大会が東京で開催をされ、各県においても設立50周年の記念事業が華々しく開催をされたわけであります。ここで私共は新たな節目を迎えました。節目というのは一つの区切りであり転機であります。押し付けられる形で行動するのではなく、自らを振り返り、新たな目標を設定し、理想とする業界の在り方とその思いを抱きながらスイッチを入れる効果的な時期であると解釈します。

また浄化槽事業では、ここ数年で取り巻く環境に大きな変化があり、環境省における浄化槽清掃実施の状況調査や、総務省勧告に端を発し、環境省には「浄化槽法施行状況点検検討会」が設置され、「浄化槽ビジョン2024」においても、その目標と新たな法改正を含めた、今後取り組むべき浄化槽の在り方についての課題と将来像が示されています。

括りとなりますが、私共は共に歳を重ね、多くの経験を積み、どのような地位や立場であっても、常に学ぶ姿勢を忘れず知見を広め、謙虚な気持ちを持ち続けることが大切であると考えております。今後における全国環境連の更なる連携の強化と強固な体制を構築するには、皆様方の更なる意識の向上とご協力が不可欠であります。本年も河野会長を中心とした全国環境連の発展と、各県組合員の皆様方の多方面におけるご活躍を心からご祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

金沢から
全国、海外に・・・
誠意と信頼の
ネットワーク



■取扱商品

エアポンプブロー ガス検知器・送排風機
電動工具・制御機器・記録紙 水中ポンプ・陸上ポンプ
配水管清掃機器・薬剤 浄化槽関連部品・FRP補修剤
給水ポンプ・薬注ポンプ 各種産業用ベルト・ホース
マンホール・その他
水質検査器・理化学機器 浄化槽用消毒薬・維持管理剤

水処理関連機器の総合商社

即答即配システムが当社のモットーです。



株式会社 日環商事

本 社 〒920-0333 石川県金沢市無量寺5丁目75番地

TEL:076-268-1771(代) FAX:076-267-5348

FAX専用 フリーダイヤル 0120-617-718

E-mail:info@nikkan-shoji.co.jp

http://www.nikkan-shoji.co.jp

四国営業所 〒769-0103 香川県高松市国分寺町福家甲196番地1-101

TEL:087-813-7621 FAX:0120-617-718

九州営業所 〒812-0861 福岡県福岡市博多区浦田1丁目21号-7

TEL:092-558-4828 FAX:0120-617-718



福岡県環境整備事業協同組合連合会
会長 永野孝明

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会会員の皆様方には、ご家族共々輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

昨年は、正月に能登半島地震が発生し、9月にはその能登半島で記録的豪雨による河川の氾濫や土砂災害により地震と豪雨の二重被害を受け復興・復興への影響が出ています。亡くなられた方、被災された方にお悔やみ、お見舞いを申し上げます。

昨年の夏の暑さは日本国中記録的な暑さが続き地球温暖化を実感する毎日が続きました。県内の太宰府市では7月19日から40間連続、通算62日と最高気温が35度以上の猛暑日が続き国内連続、通算記録を更新しました。県内各地で熱中症アラートが連日発出され、熱中症予防対策の徹底強化を取りながらの業務が続きました。

令和元年に浄化槽法が改正され特定既存単独処理浄化槽に対する措置や浄化槽台帳整備に関する制度が創設されました。しかしながら、令和6年2月に総務省行政評価局より、活用が不十分との指摘を受け、特定既存単独処理浄化槽の判定の見直し、定量的基準の設定、清掃・保守点検業者からの情報収集整備活用提示やデジタル化等の課題や勧告を踏まえ、浄化槽の維持管理向上に当たっての調査、マニュアル策定等の作業が進められています。

昨年9月30日に一般廃棄物処理業務における「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」、「令和6年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針」等を踏まえた対応について、環境省環境再生・資源循環局長から各都道府県知事、総務省自治行政局行政課長から各県担当部長（財政担当課、契約担当課、市区町村担当課）に通知が発出されました。

廃棄物処理法において、「受託料が受託業務を遂行するに足りる額であること」が定められており、経済性の確保等の要請よりも業務の確実な履行が重視されていることから、労務費、原材料費、エネルギーコスト等の確保が重視されていませんでした。今回の通知により、廃掃法の規定で各市町村が条例で定めた料金に労務費、原材料費、エネルギーコスト等が適正に転嫁されるよう各市町村に環境整備を行うよう指導され、働き方改革、物価上昇を乗り越える構造的な賃上げを実現するための第一歩になることに期待しています。

昨年10月24日に全国環境連第20回記念全国大会がヒルトン東京お台場で「マインドイノベーション！進化する循環型社会に向けた意識と行動」をテーマに開催され、インドネシアにおける事業の発表があり、ファシリテーターに頼りディラバ代表の安部敏樹氏を招き「カーボンオフセット循環と浄化槽 インドネシア都市間連携のこれから！」をテーマにインドネシアマカッサル市環境局課長、ハサヌディン大学関係者、外務省、教育センター 全国環境連関係者によるパネルディスカッションも開催され今後の成果に期待をしています。

終わりに、本年も皆様方のご指導、ご鞭撻の程をお願い致しますと共に、全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会会員の皆様方、益々のご発展とご健勝、を祈念しまして新年の挨拶と致します。



山口県環境整備事業協同組合
理事長 山田幹二

明けましておめでとうございます。

全国の会員の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より組合活動にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は能登半島地震発災の知らせから幕を開けました。一年が経過する今も復興への道は険しく、し尿処理場や浄化槽への被害も大きく取り上げられ、私たちがどのような力になれるのか思いを巡らせる日々が続いております。さらに豪雨災害も頻発しており、能登半島においては震災に続く二度目の被害をもたらしました。そして南海トラフ地震臨時情報の発表など、日常化する自然災害は図らずも私たちの意識に変革を起こしております。被災された方々に対し心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念いたします。

山口県では、かねてより市町との災害協定締結に注力をしてまいりました。昨年は2町と災害協定を締結し、残る2町で県内全市町との締結を迎えます。組合と組合員間の災害時相互支援の更新も済ませており、今後も緊急時の備えが盤石なものとなるよう臨んでいく所存です。

毎年開催している山口県主催の各市町担当者に向けた「合特法に係る説明会」では合特法のことは勿論ですが、山口県担当者から先日発出された「一般廃棄物処理業務における労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」について説明がされ、組合からは災害等の緊急時に支援可能な内容について具体的に紹介させていただきました。このような場で業界全般の事案について共有ができることは、組合と行政が良好な関係である何よりの証であり、今後もこの関係を維持していきたいと思っております。

組合主催の研修関係では、ポリテクセンターでの電気系保全技術講習を今年度は初級、中級講座に加え、浄化槽メンテナンス講座を導入いたしました。浄化槽メンテナンス講座は、小型合併浄化槽の補修講座で、現場に即したものとして大変高い評価を得ることが出来ました。山口県浄化槽協会との共同開催である「浄化槽セミナー」を含めた研修等を通じて、知識と技術の習得を促し、課題解決や人材育成の一助となるべくより一層取り組んでまいります。

最後になりましたが、本年も河野会長を中心に一致団結し、全国環境連並びに各県組合がますます発展いたしますよう祈念申し上げますとともに、会員の皆様のご多幸とご健勝を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

溶存酸素計 DO計	pH/ORP計	MLSS/界面計	塩素イオン計
ガルバニ式センサー交換タイプ DO-11Z  測定範囲 DO : 0.00~20.00mg/L 飽和率 : 0~200% 水温 : -5.0~50.0℃	pH/ORP計 KP-11Z pH計 KP-11F 計量法 型式承認 申請中  測定範囲 pH : 0.00~14.00 pH ORP : 0~±1999mV (KP-11Zのみ標準) 温度 : 0.0~50.0℃	MLSS/界面計 SS-10Z MLSS計 SS-10F  測定範囲 MLSS : 0~20000mg/L 水深 : 0.00~5.00m (SS-10Zのみ)	測定レンジ自動切替機能付 CL-11Z  測定原理 固体膜塩素イオン電極法 測定範囲 : 0.1~2000mg/L

その他の営業品目
濁度計、色度計
UV-COD計、導電率計

KRK 笠原理化学工業株式会社

〒340-0203 埼玉県久喜市桜田2丁目-133-8 TEL.0480-38-9151(代) FAX.0480-38-9157

<https://www.krkJpn.co.jp>



鳥根県環境整備事業協同組合
理事長 米 山 二 郎

明けましておめでとうございます。全国の皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。今年も、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年の元旦には能登地方を大地震が襲い、家屋倒壊や津波被害などでいまだ行方分からない方々をはじめ、多くの死傷者が出る大惨事となりました。

全国各地から救援の手が差し伸べられたにも関わらず、半島部特有の地形から被害を受けた道路をはじめ、電気・上下水道などのインフラ施設の復旧もなかなか進まない状況下にありました。その爪痕も癒えない9月には、またしても豪雨災害が発生し、これから本格的な復旧活動を。との思いであったであろう多くの被災者の方々の気持ちを思うと、察するに余りあるものがあります。

一方、なかなか終わりの見えないロシア・ウクライナ戦争や、一時停戦の動きのある中東イスラエル・パレスチナにも、1日も早い恒久的な平和が訪れることを願わずにはおられません。

こうしたなか、アメリカ第一主義を唱えるトランプ氏が大統領に復帰することが決まり、国際情勢の不透明感ますます増加するのでは、と言われてしています。

また、日本においても真金問題に端を発し行われた衆議院議員選挙においては、これまで過半数を優に超えていた自公政権が大幅な過半数割れを引き起こすこととなり、野党との政策協調路線をいかに築き上げることができるのか、石破政権の難しいかじ取りが試される年になりました。

さて、昨年には第20回全国大会が東京において開催されました。インドネシアでの調査事業は、現地から行政や大学関係者などを迎え現状報告が行われました。全国環境連の多くの仲間が国境を越え、一生懸命活動に従事する姿にとっても感銘を受け、事業の一層の進展を願わずにはおられません。

また、昨年から今年にかけて、全国各地で組合設立50周年の節目の年を迎え、これまでの歩みを振り返りながら、それぞれの地域の特性のなか、今後いかに事業展開を図っていくのか改めて考えを深める良い機会となりました。

私どもの組合も、本年、区切りの年を迎えるにあたり、行政や関連団体との連携を一層深めながら、地域住民の環境整備の増進に努め、業界全体が一層発展していくよう、組合員共々取り組んでまいり所存です。

終わりに、皆様の益々のご健勝とご発展を心からお祈り申し上げますと共に、一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



鳥取県環境整備事業協同組合
理事長 大 川 和 彦

新年おめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年石破政権が誕生しましたが、鳥取県から総理大臣が誕生することは初めてのことで鳥取県民は歓喜に沸きましたが、直後の総選挙で少数与党となり、難しい船出となりました。加えて、第2次トランプ政権も始まりですが、一般常識からは予想できない発想の政策ため、ロシア・ウクライナ情勢を始め、米中貿易摩擦の加速など経済活動に悪影響が無いか危惧しているところではあります。

また、昨年は歴史的な円安の後押しもあり、過去最高の年間3千万人を大きく超える外国人観光客が来日されました。訪日しての日本の印象の中で、日本人の礼儀正しさと和食を始めとする日本食の美味しさに加え、トイレの綺麗さを挙げる方が多いそうです。我々業界が、この世界に類の無いトイレシステムに携わっていることを誇りに思っていますし、世界に発信できるチャンスと捉えています。

さて、令和元年の浄化槽法改定されましたが、総務省より特定既存単独浄化槽の判定など適正に運用されていないと勧告を受けました。このような背景もあり、本年度国会で浄化槽法を改定する動きもあります。

本県においては「鳥取県浄化槽整備及び適正管理推進協議会」も4年目となり、適正な浄化槽維持管理の向上対策などを検討、実施してきました。その結果として、ようやく清掃を始めとする維持管理の実施率が向上してきたと実感しています。

一方、業界におきましては、燃料や資機材の高騰、賃金アップ、人材不足など事業運営の厳しい状況が続く中、環境省と総務省から、「一般廃棄物処理業務における労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」が発出されました。これは、事業継続の対策として、全国環境連が環境整備議員連盟と共に政府に要望した結果だと考えており、当組合においても鳥取県並びに市町村に周知を図り、し尿及び浄化槽の清掃料金を適正な価格に結びつけていく方針で活動していきます。

全国環境連におきましても、毎年頻発する災害に対して支援するネットワークの運用が始まる中、環境省や地方公共団体との連携も強化していかなければなりません。

「蛇の足より人の足見よ」と言う格言があるように、全国環境連は、現実的ではないことを考えるよりも、もっと身近な問題に目を向け、業界を先導する団体になっていかれることをご祈念申し上げます。



臭気改善で住み続けられるまちづくりを

衛生車・吸引車の臭気対策に

デオマジック®VC1 オイル

DEOMAGIC® VC1 Oil

デオマジック®VC1オイルは糞便臭を甘い香りに変化させる潤滑油です。作業員様や地域住民の皆様に大好評です。

- お 得！ 脱臭剤が不要になります。
- 簡 単！ 今お使いのオイルと同様に定期的な交換だけで
- 新技術！ 不快臭を取込んで良い香りに変える技術

お問い合わせ先

東邦車輛株式会社 横浜部品営業所
〒230-0003
神奈川県横浜市鶴見区尻手3丁目2番43号
TEL: 045-575-5241 / FAX: 045-575-3271
Email: deomagic.vc1@shinmaywa.co.jp



消臭のメカニズム



DEOMAGIC® VC1 Oil
デオマジック®VC1オイル



全国ネットの特装自動車の総合メーカー

東邦車輛株式会社

営業本部	TEL: 045-575-9901	信越営業所	TEL: 025-283-6571
直販部	TEL: 045-575-9902	中部支店	TEL: 052-218-5123
直販部直販課	TEL: 045-575-9253	金沢営業所	TEL: 076-223-1191
北海道支店	TEL: 011-633-7101	近畿支店	TEL: 0798-52-2100
東北支店	TEL: 022-782-5040	東邦車輛サービス	TEL: 072-433-2401
仙台部品出張所	TEL: 022-782-5065	中四国支店	TEL: 082-890-2882
北関東支店	TEL: 0276-89-1551	九州支店	TEL: 092-441-1951
茨城営業所	TEL: 0298-22-5569	福岡部品営業所	TEL: 092-441-0634
関東支店	TEL: 03-3843-3351	南九州営業所	TEL: 099-252-2070



岡山県環境整備事業協同組合
理事長 牧 生 夫

新年あけましておめでとうございます。
全国環境連の会員の皆様には、すがすがしい
新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、皆様には平素から組合活動の推進に当たり格別のご協力を賜り厚お礼申し上げます。

コロナ騒動は一応落ち着いてまいりましたが、まだ完全に終息したわけではなくこれに加え風邪の症状としてインフルエンザ、マイコプラズマ肺炎といった感染症が流行しているところであり、皆様にはくれぐれも注意していただきたいと考えております。

このような中、訪日観光客は最多を更新し、各地で交通渋滞や観光地でのお客さによる混雑などの「オーバーツーリズム」が連日、テレビ等のマスコミに取り上げられているところを目にいたし、本当に平常に近い状態に戻っているのではないかと考えているところであります。

私たち全国環境連の活動を振りかえってみますと、令和2年・3年と岡山県が担当しました、全国大会の開催が2年も中止となり、皆様にも多大なご迷惑をおかけしたところであります。その後、令和4年には長野市、令和5年には熊本市、昨年は第20回記念大会として東京で開催されました。岡山県としましては、令和2年・3年に積み残した宿題を解決するため、昨年よりプロジェクトチームを立ち上げ、今年10月24日(金)岡山市の地での開催に向け鋭意取り組んでいるところであります。前3回にくらべ十分なお持ち成しはできないとは思いますが、精一杯頑張らせていただきますので、会員の皆様の来岡を心よりお待ちしております。

初代地方創生担当大臣の石破茂氏が総理大臣に就任された今地方創生をより充実させるため、全国大会を開催し全国会員の皆様の絆が深められ大会を通じ、我々の中心事業である災害に強い浄化槽についてその業務の責任を担う我々会員が行政機関はもとより、地域住民の皆様に周知していくことが必要であります。

令和7年の干支は、乙巳(きのと み)であります。乙(きのと)は、草木がしなやかに伸びる意味を持っており、巳(み・へビ)は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされていますことから、乙巳(きのとみ)の年は、再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」としなっていくと考えられます。

干支にちなみまして、全国環境連並びに各県組合の皆様の努力が結実し、ますます発展されますこと及び会員の皆さまのご多幸・ご健勝を祈念申し上げます新年のご挨拶とさせていただきます。



栃木県環境整備事業協同組合
理事長 菊 地 豊 樹

新年おめでとうございます。
全国環境連会員の皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より多大なるご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、多くの試練と希望が交錯する一年となりました。特に自然災害の影響は甚大で、石川県では能登半島地震が発生し、多くの方々が生活の基盤を失うという厳しい状況が続きました。この地震を通じて、災害への備えや迅速な対応の重要性が改めて浮き彫りとなりました。また、全国的には線状降水帯による豪雨災害が頻発し、各地で甚大な被害が報告されました。こうした自然災害が生活や地域経済に及ぼす影響の大きさを、改めて痛感した一年でもありました。しかしながら、このような厳しい状況の中でも、パリオリンピックでは日本選手団が輝かしい成果を挙げ多くの感動を届けてくれ、その姿から逆境にあっても挑戦を続けることの大切さを改めて教えられました。

また、昨年は東日本大震災から13年が経過し、これまでの復興の歩みを振り返りつつ、これからの課題を見据える重要性を再認識し同時に災害に強い社会を構築するための取り組みをさらに推進していく必要性を感じています。

私たちの業界においても、自然災害や社会課題に対応しながら、次世代へ事業を確実に引き継ぐための努力が求められています。地域社会の一員として、信頼性の高い業務運営を行い、持続可能な社会の実現に向けて貢献を強化することが必要です。災害時の迅速な対応や平時の備えを徹底し、地域住民の安全と安心を支える役割を担っていききたいと考えております。

その取り組みの一環として、当組合は栃木県環境森林部資源循環推進部様と協力し、「廃棄物処理に係わる初動対応訓練」や「支援要請伝達訓練」などを実施するとともに、各種講習会を開催してまいりました。本年1月には、創立50周年の節目を迎えます。「美しい水環境を守り、次世代へつなげる」という信念のもと、組合活動をさらに進化させ、地域社会の持続可能な発展に貢献してまいります。

最後になりますが、本年も河野会長を中心に会員一同が一致団結し、全国環境連のさらなる発展と、会員皆様のご健勝とご繁栄を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

発 行 者

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24 AKビル5階B



全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会

会長：河野正美

TEL 03-5207-5795 FAX 03-5207-5796

年間購読料 2,200円 1部 220円 消費税含

し尿収集容量表示計 KANTARO® 環太郎®

“環太郎”は収集量の正確な計測と、料金の明瞭化でし尿処理業務の最適化を推進します。

簡単操作で 速くて 正確 そして 安価！

特許：第2736403・第5742875

◆ 取り付けが簡単！

◆ 安 価！

◆ 高 精 度！

シンプルな構造で、空気/液体分離用タンクや計量器のロードセルは不要。出張取り付けも可能です。



実績24年 ありがとうございます

IC SOKKI
IC Measuring Instruments Co., Ltd.

アイシー測器株式会社

URL <http://ic-sokki.sakura.ne.jp> E-mail ic-sokki@arion.ocn.ne.jp

本社/〒564-0063 大阪府吹田市江坂町2丁目14-46
TEL.06-6384-1543 FAX.06-6338-8557



収集量表示計